

生き活き

【目次】

つながる.....	1・2
いそしむ.....	3・4
くらす.....	5・6
今月のクイズ.....	裏表紙



第35回県民スポーツ・レクリエーション祭 ボッチャ交流大会

令和6年9月8日(日)10:00~12:00 参加者13名(女性11名 男性2名)
宇多津北小学校 体育館(綾歌郡宇多津町浜八番丁115)



交流大会参加に向けて、急遽1チーム3~4名で4チームを編成し、出場しました。当日の会場内は各団体のオリジナルTシャツやポロシャツが目にとまります。ボッチャ部のミントブルーのTシャツも会場にとっても映えていました。この日にTシャツが間に合って良かったと部員たちと喜びました。ゲーム開始からコートサイズの違いに悪戦苦闘や、強豪チームにこてんぱんに負けもありましたが、各コートでの入賞をいただきました。

交流大会中、ボッチャ部員の障がいのある方への自然な関わりや、審判に色々なことを教わるひたむきさ、すがすがしい表情でゲームを楽しまれている姿に、年を重ねる楽しさをまたひとつ見せていただきました。現在、部員が急増中のボッチャ部、今後は地域の方々と楽しめる何かをまた一つ実現出来たらと構想しています。

令和6年度傾聴ボランティア養成講座 高松前期会場

【1日目】令和6年9月13日(金)10:00~16:00 【2日目】令和6年9月25日(水)、10月16日(水)13:30~15:30
県社会福祉総合センター6階研修室

【午前】講師 山本隆夫氏(さぬき傾聴ボランティアグループ「陽」代表)
長年傾聴活動から感じられたこと、実践で得たヒントをお話いただきました。グループワークでは、二人一組になり、良い聴き手、悪い聴き手の体験から聴き手の態度や姿勢で話の広がりや違いが違ってくることを理解しました。
【昼食前】香川県社会福祉協議会 地域福祉課 矢野主事
自身の経験を交え、ボランティアの意味、目的、良さ、高齢者いきいき案内所の概要について説明しました。
【午後】講師 青井恵子氏 秋山美智子氏(認定NPO法人グリーンワークかがわ認定カウンセラー)



カウンセリングの手法について、ワークの時間を中心に、聴き手、話し手、観察者の立場から客観視に感想をだしあいました。グリーンワークの時間では自身のグリーン経験を伝え、グリーン時の言葉かけについて考えました。2日目実習は傾聴ボランティア勉強会メンバーとロールプレイを行いました。詳細は次号にて。

実習生と高齢者いきいき案内所



- ①発表会出演者向けの読み聞かせ練習会 令和6年8月22日(木)10:00~12:00
- ②ボッチャ部練習会 令和6年9月11日(水)10:00~11:50
- ③傾聴ボランティア養成講座高松前期会場 令和6年9月13日(金)13:00~16:00

医療福祉系大学の実習生1名に高齢者いきいき案内所事業説明と、上記の行事に参加いただきました。未来の福祉の担い手との出会いに、参加者の表情もほころびます。今後の彼女の活躍を大いに楽しみにしています。

第70回記念全国視覚障害女性研修大会 ボランティア報告

令和6年9月4日(水)8:30~13:00、17:00~18:30、18:00~19:00
令和6年9月5日(木)8:30~9:30
ボランティア参加13名(女性11名 男性2名)
JR高松駅、レクザムホール周辺、レクザムホール小ホール、ホテルクレメント高松3階大宴会場飛天

さかのぼること、8月7日(水)に実施した説明会で参加いただくボランティアの皆様へ当日の手順等について入念な説明が行われました。実際に視覚障がいの方をサポートする際に必要な知識や、感覚を体験するため、香川県社会福祉総合センター館内を歩行しました。大会当日はガイドヘルパーや、盲導犬が同行されていた方が多く、直接支援の案内は少なかったのですが、良い経験となりました。大会日は、晴天に恵まれ、全国各地からお越しの参加者の方々は足元の心配もなく、駅からボランティアスタッフの声かけでスムーズに会場に進まれた様子でした。しかしながら、今年の9月は真夏の炎天下のような日が多く、会場まで道案内として、街頭に立って誘導の方々には感謝しかありません。どの活動内容、会場でもボランティアとして参加の皆様が、生き生き、キラキラしている姿は充実感にあふれていました。出来ることを手伝う、お互いの存在からお互いを認め合う、素敵な光景をたくさん見せていただきました。



【説明会】



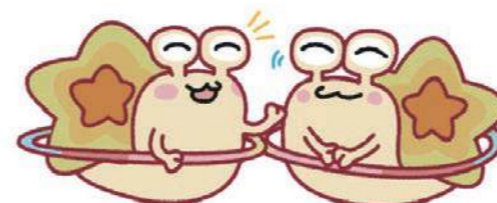
【当日の様子】

傾聴ボランティア勉強会懇親会

令和6年9月9日(月)13:30~15:30 参加者13名(女性9名 男性4名)
県社会福祉総合センター6階和室研修室(高松市番町1丁目10番35号)



参加者の淹れたハンドドリップコーヒーの香りとともに、甘いお菓子を片手に会は始まりました。参加者自己紹介のトップバッターは、勉強会オブザーバーの山本 隆夫さんから傾聴活動で準備していたら良いことと、現在の活動についてのお話。順次、参加者自己紹介と現在の活動状況を報告しあいました。それぞれの感想や想いを伺い、活動中の方の励みになったり、吐き出すことで、もやもやが楽になったり、活動がまだの方は、少し前向きな気持ちで踏み出してみようにつながってもらえたらと思います。長年傾聴活動にかかわっている参加者の方が「傾聴活動を通して、どんな人でもいっしょけんめいに生きていくことが見えた」と話され、傾聴の深淵に触れたようでした。相手に寄りそうことができるたびに、心に湧いてくるさまざまな思いを聞くことができました。今後にも年に一回は近況報告などとして、活動者や勉強中の方々などが集えるオープンな会として開催したいと思います。



読み聞かせボランティア養成講座修了者さんの 読み聞かせ練習会

会場：香川県社会福祉総合センター3階ボランティア交流室

高松前期会場修了者向け
令和6年8月1日(木)10:00~12:00
参加者 5名(女性 4名 男性 1名)
令和6年8月22日(木)10:00~12:00
参加者 12名(女性)

高松後期会場修了者向け
令和6年10月9日(水)13:30~15:30
参加者 5名(女性)
令和6年10月23日(水)13:30~15:30
参加者 3名(女性)

今年度初めての試みとして、発表会前に読み聞かせの練習会を開催しました。異常な暑さの中の8月1日、22日の練習会に、アドバイザーを務めていただいたえほんくらぶの田所なよ子さん、宮野弘美さんはじめ、ご参加いただいた皆様、お疲れ様でした。1日のみの講義と実技から、発表会への出演で、何を读んだら良いか、どのように读んだら良いのかと不安を抱えてのご参加だったと思います。

持参した絵本での読み聞かせ練習後、アドバイザーの二人から読み方や、絵本の選書についての話があり、発表会の絵本の変更を考えたり、教わった読み方の自主練習をしっかりとしたり、発表会までにすることがはっきりと見えたようでした。今まで、人前で読んだ経験のある方も、聞き手からの視線を取り入れることで、独りよがりにならず、聞き手を思いやる読み聞かせについて考えていただけたように思いました。

いざ、発表会本番に向け、聞き手を思いやり、読み手自身も楽しむ読み聞かせは、練習あるのみです。



令和6年度読み聞かせボランティア養成講座 高松前期会場2日目発表会

令和6年9月5日(木)10:00~16:30 出演者23名(女性21名 男性2名)
会場：トキワ1丁目ギャラリー(高松市常磐街商店街内)

まだまだ夏の暑さが厳しい日、急遽エアコンのある会場に保育園児さんの手を取り、バタバタと大移動となりました。午前中は近隣の保育園さんにお越しいただき、にぎやかな読み聞かせ会、午後は大人の方々でしっかりと読み聞かせを楽しむ時間となりました。3つのグループに分かれ、先に先輩グループの読み聞かせを楽しみ、次に受講者の披露となりましたが、練習会でいただいたアドバイスから絵本を変更されたり、幾度となく気をつけて読みの練習をされたことが分かる方々もあり、練習会の参加の効果をとても感じました。

読み手が読む本を好きな気持ちと肩ひじ張らず、心軽く、聞き手や場の状況を考えて読む読み聞かせは、絵本の世界をぐーんと広げてくれることを改めて感じさせてもらいました。



令和6年度 読み聞かせボランティア養成講座 高松前期・後期会場

前期会場 1日目

令和6年7月25日(木)10:30~16:30 受講者25名(女性23名 男性2名)

後期会場 1日目

令和6年9月17日(火)10:30~16:30 受講者14名(女性)
会場(両日)：香川県社会福祉総合センター7階第1中会議室

令和6年度読み聞かせボランティア養成講座 高松前期・後期会場ご報告

午前

講師 池田 洋子氏(絵本講師、朗読グループどんぐり代表)

「絵本のちからについて」と題して、長年さぬき市を中心に県内各所で得られた経験を交えた池田洋子さんから、講義と絵本の持ち方や手順などの実技として読み聞かせの手ほどきを受けました。

「ちびゴリラのちびちび」(ほるぷ出版)の読み聞かせでは、絵本の絵を読むことを気づかされ、「いないいないばあ」(童心社)には、小さな子どもの感性をくすぐる絵本の魅力、「あしなが」(講談社)は子どもだけではなく、大人も考えさせられる絵本について、紹介いただきました。

2人1組での読み聞かせ体験では、本の持ち方を確認しあったり、初めてみる絵本を楽しんだりする時間になりました。午前の締めには男性受講者の方に、落ちついた温かみのある声で読み聞かせいただき、会場内に響く声に、優しい絵を見ながら、文章が頭にしっかりと入ってくる読み聞かせの良さを味わいました。



昼食前

香川県社会福祉協議会 矢野主事より、ボランティアに赴く時の不安や緊張があった経験や、受講者同士でボランティアの経験や受講へのきっかけなどを話し、ボランティアについて広く考えてみました。

また、高齢者いきいき案内所の紹介では、さまざまな活動の中でもハンドリップコーヒーボランティア講座にご興味を持っていただけたようです。



午後

講師 藤原 まゆみ氏(絵本専門士、香川短期大学附属図書館司書)

藤原まゆみさんのお話からは、絵本として完成するまでに、携わる方々がより良いものを子供たちに届けたい思いや、絵を仕上げるにあたって創意工夫の中から生まれてきた絵本について、たくさんのお話を聞いて、紹介いただきました。

また、読み聞かせで言われる淡々や、自然な読みについて、赤ちゃん人形を使って読み比べ、身をもって体験しました。絵本のプログラム作りでは、自身のプログラムとグループ内での組み立て方の違いや個々の思いを聞いていくことで新しい組み合わせも学びとれたようです。



地域の子どもたちが
食で元気になる居場所

さぬき市にある『たまのいえ子ども食堂』では、食を通じて異世代の交流活動を実施しています。

毎月第4木曜日に、志度公民館でテイクアウトのお弁当配布を行い、併せて必要な方へ食材配布も実施しています。お弁当の配布は、30名までの予約制で実施し、食材配布も14名までの予約制となっています。当日は4人～6人のスタッフでお昼よりお弁当作りを開始し、15時頃より子育て世帯へお弁当の配布を行っています。

また夏休みや冬休み等の長期休みには、お弁当バイキングのイベントを行い、みんなで一緒にお弁当を食べながら過ごす会食も行っていきます。



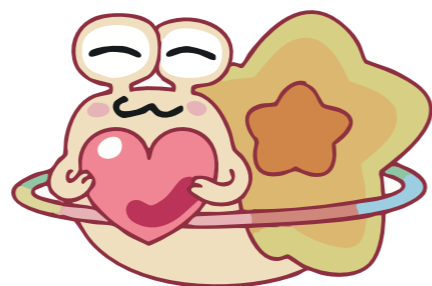
お弁当の配布は、子どもも大人も一人100円と低価格で提供しており、受取りに来た子どもや保護者の方とお話ししながら、生活の状況や必要な相談に丁寧に対応されています。食品をお渡しするだけでなく、お米やお野菜などの食材の栄養面や調理について分かりやすく説明しているチラシなど広報にも力を入れ、生活に欠かせない食の大切さを伝えることに工夫されています。

また地域の子どもや大人、高齢者の交流の居場所づくりをするために、一緒に弁当作ろう会なども実施され、地域の方が気軽に集えるような場所を目指し、活動されています。

現在スタッフは、代表者1名とボランティアスタッフの6名で実施しており、日程に合わせてお手伝い出来るボランティアさんが当日の運営を行っています。スタッフ間でそれぞれ協力しながら、役割分担を行い、当日のお弁当作りを行います。子ども食堂を運営をしていく中で、協力いただける人材やご寄付はとても大切であり、たまのいえ子ども食堂も、地域の方にご協力いただきながら、活動を行っています。子どもたちから高齢者まで、食を通じて元気になる地域の大切な居場所として、今後も引き続き、皆様のご協力をよろしくお願いいたします。



紹介団体
【たまのいえ子ども食堂】
さぬき市志度 3779-1(志度公民館)
TEL 090-7578-7029(田上さん)



民生委員・児童委員をご存知ですか？

民生委員・児童委員(以下、「民生委員」)は、民生委員法に基づき、厚生労働大臣から委嘱された非常勤の地方公務員です。とはいえ、給与の支給はなく、無報酬でボランティアとして活動しています。社会福祉の増進のために、地域住民の立場から生活や福祉全般に関する相談・援助活動を行っており、創設から100年以上の歴史ある制度です。昨今の人口減少や少子・高齢化の進行を背景に、地域や家族のつながりが希薄化する中、見守りや支援へのつなぎ役を担う、民生委員への期待はますます大きくなっています。

また、全ての民生委員は児童福祉法によって、「児童委員」も兼ねており、一部の児童委員は児童福祉に関することについて専門的に担当する「主任児童委員」として、児童委員と学校や行政、医療機関等との連絡・調整を行うとともに、担当地区のひとり親や子どものいる気になる世帯の状況把握や日常的な見守りを行う児童委員の活動への協力、支援する役割も担っています。

香川県内では、民生委員として1,932名(令和6年4月時点の実数)が、主任児童委員として227名が活動しています。

地域での活動紹介

- 小学校の総合学習の一環として、子ども達に民生委員活動の理解を深めてもらうとともに、世代を超えた交流を通して地域住民を元気づけることを目的に、「子ども民生委員」に取組んだ地域があります。
- 学校と地域の民生委員児童委員協議会が連携し、「子ども民生委員」に任命された児童と民生委員、主任児童委員と一緒に単身高齢者等の自宅を訪問し、熱中症予防のチラシ配布や困りごとを聴くなどしました。
- 民生委員の担い手確保が課題となっている中、子ども達への、民生委員活動の理解や子ども達自身が地域の一人として、地域のことを考えるきっかけづくりになっています。



～子どもの現在と未来を応援する～

令和5年に実施された厚生労働省の調査によると、子どもの相対的貧困率は11.5%と公表されています。つまり、約9人に1人が貧困の状態にあるといえます。前回(平成30年)の調査の相対的貧困率は14.0%(約7人に1人)であったため、一見、子どもの貧困は改善されているように思われます。

一方で、子どもの自殺や虐待、不登校、ヤングケラーなどは増加傾向にあり、子どもを取り組む環境は厳しい状況にあると言えます。

当協議会では、香川県から「香川県子どもの未来応援ネットワーク事業」を受託し、生まれ育った環境によって左右されることなく、全ての子どもたちが夢と希望を持って成長できる持続可能な地域づくりをめざし、子ども食堂などの地域の居場所づくりやその活動のサポート、活動している人・団体同士のネットワークづくり、そのような人・団体・場とそれらを応援する人とのマッチングなどに取組んでいます。

「居場所をつくりたい!」「何かお手伝いしたい!」など、お気軽にご相談ください。

事務局:地域福祉課内
TEL 087-861-2233

香川県子どもの未来応援情報ひろば



● 民生委員・児童委員をご存知ですか？
● 『子どもの現在と未来を応援する』
● たまのいえ子ども食堂、地域の子どもたちが食で元気になる居場所！

令和4年からクイズサークル「香川クイズサークル SQUIZ」の皆様へ先入観にとらわれず、柔軟な発想から答えを見つける問題を作成していただいています。今号でどのくらい頭を柔らかくできるか?ぜひ、挑戦してみてください。

Q1 ?に入るアルファベットは何でしょう?

ヒント:アルファベットは干支を表しています。

	N	U	T	U	T	?	U	H	S	T	I	I
H	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
R	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13

Q2 ?にあてはまる文字を上から読んでできる4文字の言葉は何でしょう?

音	?	物	うっかり注意
服	?	菘	ひざの後ろ側
線	?	莖	衣類をきれいに
校	?	新	未知のことに興味がわく

応募方法は、ハガキもしくはFAX、メールにて、
①Q1とQ2の答え②氏名③年齢④住所⑤電話番号を記載の上、ご応募ください。

○申込期限 令和7年2月25日(火)

○応募先 香川県社会福祉協議会 高齢者いきいき案内所
〒760-0017 香川県高松市番町1-10-35 5階

TEL 087-861-0546 FAX 087-861-2664

Mail:chiiki3@kagawaken-shakyo.or.jp

【香川クイズサークルSQUIZ (スクイズ)】月1回日曜日高松市内公共施設にて、高校生から中高年の幅広い年齢層、約10名で活動中。ゲーム要素なものから競技レベルまで幅広いクイズの作成や解くことを楽しんでいます。ご興味のある方は、高齢者いきいき案内所事務局までお問い合わせください。

第17号いきいきクイズ当選者への“ええもん”は、【香川県立笠田高等学校食品科学科の生徒が実習で作ったジャムと缶詰の詰め合わせ】(香川県三豊市豊中町笠田竹田251番地)を2名の方にお届けします。

Q1 このとき、あるに当てはまる、漢字1文字の果物はなに?

Q2 文章を完成させてみよう。

No.17
クイズ
解説

ある	なし
手 口 神 東	足 鼻 仏 西
北 秋 青 葉	南 春 赤 花
根 馬 熊 鹿	莖 牛 猪 羊
玉 香 縄 和歌	王 桂 綱 俳句

ヒント:全部で47

あるは都道府県に使われている漢字
こたえは、「山梨」の梨



①②

②③えは、「①④④」に④ず



〇③

こたえは、「おみにみず」



〇〇の④④



● なんかええもんをプレゼント!
● 編集後記

高齢者いきいき案内所に登録しませんか

◎例えばこんな方～高齢者いきいき案内所では登録者をお待ちしています～

- ・何かしたいけど何から始めたらいいかわからない方
- ・経験や知識、技術を活かして地域で活動したい方
- ・読み聞かせやお話を聴く傾聴活動に興味がある方
- ・無理なく体を動かせる地域活動をさがしている方
- ・まずは情報がほしい方

お気軽にご相談ください!

～編集後記～

夏日が長く続き、秋や冬は来ないので…と心配にかられましたが、なんとか秋を迎え、季刊誌が届く頃は、冬を迎えているのでしょうか。今年はなんといっても、ポッチャ部Tシャツの効果もあり、ポッチャブームの到来。練習会開催時は20名近く集まり、9月の交流大会では13名が4チームに分かれ、エントリー。いつものボールや、コート of の広さも違うなか、メンバー同士で支え合い、健闘する姿から新しい仲間との絆づくりを見せていただきました。現在、練習時は3コートにしたりするなど、ご参加の方に楽しんでもらうよう、コート作りに工夫しています。ポッチャ、気になる方、事務局までお問い合わせください。(平池)

令和6年度季刊誌発送作業ボランティア募集

【実施日】令和7年2月28日(金)

【時間】10:00-12:00

【会場】香川県社会福祉総合センター
3階ボランティア交流室で活動しています。
お手伝いいただける方は、事務局まで。

【発行元】

香川県社会福祉協議会 高齢者いきいき案内所
住所・高松市番町一丁目10-35

電話・087-861-0546

FAX・087-861-2664

Mail・chiiki3@kagawaken-shakyo.or.jp

URL・https://iki.kagawaken-shakyo.or.jp



公式LINE

